

平成27年度予算編成 に向けての要望書

平成26年10月20日

甲斐市議会決算審査特別委員会

甲斐市議会においては、議会改革への取り組みの一環として、議会改革特別委員会から「決算審査特別委員会による新年度予算への要望を行うこと」について、議長に答申がなされ、このたび、実施することとなりました。

現在、国内の経済情勢は、依然厳しい状況下にあり、市税の減収をはじめ、地方交付税等財源の減少が予想されております。

また、本市の財政運営も、扶助費等の歳出増が見込まれるなど厳しさは増し、持続可能な自治体経営に向け、一層の創意工夫による取り組みが必要となっております。

決算審査特別委員会では、決算審査等で出された意見を踏まえ、各常任委員会から提出された新年度予算への要望に対して、本委員会において意見の一致をみました12事業について、要望をさせていただくことといたしました。

については、本要望等を参考にいただき、見直すべきものは見直し、より効果的な新年度予算編成に取り組まれることを願うものであります。

甲斐市議会 決算審査特別委員会
委員長 米山 昇

事業項目一覧

	事業項目
1	甲斐市定員適正化について
2	職員の採用について
3	公用車管理事業について
4	重度心身障がい児(小学校6年生まで)の医療費窓口無料化について
5	中山間地域の林道整備について
6	甲斐市わくわくフェスタ実行委員会補助金について
7	道路維持改良事業について
8	短期整備路線の早期整備について
9	小中学校の教室へのエアコン設置について
10	竜王中部公民館の建て替えについて
11	下水道使用料について
12	市議会ホームページのリニューアルと無線LANの構築について

1 甲斐市定員適正化について

甲斐市定員適正化計画において、組織のスリム化、効率化を推進するには、まず職員の意識改革が最重要であり、職員の研修や研鑽に関する予算の充実を図ること。

また、より公正公平な人事評価制度の導入、縦割り行政の見直し、専門職員の採用など、様々な検討や検証ができるような予算措置に努めること。

2 職員の採用について

職員採用試験については、上限年齢が 33 歳から 30 歳に引き下げられ、資格を持ち母親として子育て経験を持つ女性が社会復帰する場合、30 歳という年齢制限は厳しく、正規採用の希望が閉ざされてしまう。

特に、保育士の臨時職員が多く、園児や若い保育士を育てていくという意味においても、経験豊富な先輩が増えていくことは重要であることから、専門職の雇用年齢の上限見直しとそれに伴う人件費の予算化に努めること。

3 公用車管理事業について

公用車の維持管理については、合併後、10 年が経過し乗れる間は乗るという方針の中で、購入を控えている現状であり、老朽化した公用車が多く、維持管理経費が増大している。

については、リース契約や環境に配慮したハイブリット車等の導入を調査、研究するとともに、公用車更新計画を策定し、経費削減及び予算の平準化に努めること。

4 重度心身障がい児（小学校 6 年生まで）の医療費窓口無料化について

本年 11 月 1 日より重度心身障がい者医療費の助成方法が、「窓口無料方式」から「自動還付方式」に県下一斉に変更される。

しかし、子育て支援の「こども医療費助成制度」の対象である健常児の小学校 6 年生までの「窓口無料」に比べると、同じ子どもでありながら支払い方法が違うため公平性が保たれない。

については、障がい児も健常児と同様に保護者の負担を軽減するため、障がい児の小学校 6 年生までを「窓口無料」とするよう、関係条例の一部改正等を検討すること。

5 中山間地域の林道整備について

敷島地区北部地域の林道については、地域で生活するうえで必要不可欠な生活用道路でもある。

整備計画では、漆戸から菅口までの林道整備は、今後 10 年間の予定としているが、この道路は獅子平地区から北部 12 集落に通じる道路であり、県道敷島竜王線が災害等で通行止めとなった場合の迂回路とできる。

については、来年度予算を増額し、早期完成を図ること。

6 甲斐市わくわくフェスタ実行委員会補助金について

甲斐市わくわくフェスタについては、合併後の地域間交流と市民の親睦、甲斐市の PR 等を目的に事業が開始された。

合併から 10 年が経過し、その役目は果たされ、イベントのマンネリ化、商業目的の感が否めない。

多大な事業予算のコスト削減も含め、「市民との交流」を目的とする、適正な規模でのイベントとされるよう事業の縮小、または、形を変えるなど事業内容の見直しを検討すること。

7 道路維持改良事業について

市道等の小改良、小補修工事については、地域から要望を上げて、なかなか工事が施工されない状況も見受けられる。

地域からの要望になるべく多く答え、かつ早期着工が図られるよう、予算措置に努めること。

8 短期整備路線の早期整備について

甲斐市道路整備計画においては、整備時期が「概ね5年以内に完了または着手する路線」としている短期整備路線が5路線〔竜王田中線（延伸）、境大下条線（延伸）、赤坂台病院前～赤坂ソフトパーク、境大下条線、市道開発2号線～県道島上条山宮線〕ある。

これら路線の具体的な整備計画等を策定し、平成27年度から着手できるよう予算措置に努めること。

9 小中学校の教室へのエアコン設置について

地球温暖化による異常気象により、教室内の温度が6月から9月にかけて30℃から35℃の真夏日も珍しくない。小中学生の暑さ対策も「暑さに耐えられる体力をつけること」や「扇風機、ミストファン、冷水器等の設置、緑のカーテン」も必要であるが、それ以上に、室温を下げるエアコン設置が必要である。

県内では、7市1町がエアコン設置済みまたは設置予定であり、併せて、子供や保護者等の要望でもあることから、全ての小中学校へのエアコン設置を検討すること。

10 竜王中部公民館の建て替えについて

竜王中部公民館は、昭和 48 年の開館以来、竜王中部コミュニティ委員会構成の 7 自治会区の住民をはじめ、多くの市民が学習の拠点として幅広く活発な活動が展開されている。

しかし、老朽化が進み、講堂棟の一部を除いて耐震基準も下回っているため、来年度予算に実施設計委託料を計上するなど、早期完成を目指すこと。

11 下水道使用料について

下水道接続については、現在、接続率約 75%である。

宅内下水道接続は、利子補給や周知 P R により推進しているが、一層の努力により、更に接続率を上げるための予算措置に努めること。

12 市議会ホームページのリニューアルと無線 LAN の構築について

市議会ホームページについては、平成 19 年度に開設し、平成 23 年度には、インターネット放映も開始し、アクセス数についても順調な伸びを見せている。しかし、ホームページの内容は充実しているが、レイアウトや配置等において、インターネット放映が全く引き立っておらず、非常に使いづらく、分かりづらいデザインとなっている。一新した市ホームページについては、市民からも好評を得ていることから、議会ホームページにおいても大胆なリニューアルを進めること。

また、議会のデジタル化、ペーパーレス化を進めるため、本館 4 階フロアにおける無線 LAN の構築を進めること。